

こんな時
だからこそ

今こそ、福祉・防災の流山市へ

市民のために働く日本共産党の4議席を

震度7を想定した防災計画に強化を！

福祉こそ市政の柱に

中学3年生までの医療費無料化をめざします。待機児解消のため、保育所の増設し、耐震化を急ぎます。特養ホームの建設で待機者をなくし、高齢者世帯の安心ネットワークをつくりまします。

負担減らし暮らし応援

国保料を引き下げ、介護の負担を軽減します。つくばエクスプレスの運賃を引き下げます。定期割引率や通学定期はせめてJRなみに。

不要不急の事業は凍結・延期を

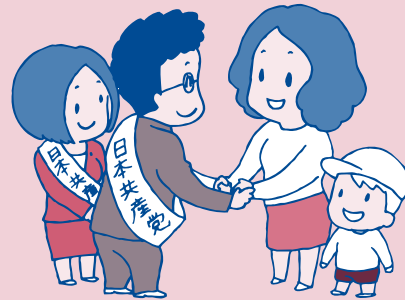
事業費が毎年百億円もかかるTX沿線巨大開発をやっている場合ではありません。不要不急の開発は凍結・延期し、震災復興や病院・保育所・公民館などの耐震化、福祉の力強いネットワークのために使うべきです。

今こそ足腰の強い地域経済を

大震災で傷んだ家屋の改修に、『住宅リフォーム制度』の創設が急務です。利用者には喜ばれ、地元業者にも仕事が回り、市の税収も増える制度です。地域経済を元気にする農業や商店、中小企業の振興と雇用拡大をすすめます。

いのちと暮らしを守るためには、建物の耐震化などハードはもちろんですが、おとしよりと子どもなど、弱者を犠牲にしないことです。医療、介護、福祉、子育て支援などの力づよいネットワークがかかせません。災害につよい「福祉・防災のまちづくり」をごいっしょにすすめましょう。

みなさんから寄せられた声、まっすぐ市政にとどけます。



放射能汚染が怖い。不安を取り除くため、乳児や妊婦に水を配ってほしい。

親類が福島から避難してきたが、いつまでも一緒に住めない。住宅を提供してほしい。

地震で足がすくんだ。電話がつうじない。揺れで気持ちが悪くなり、急いで安定剤を飲んだ。

この声にこたえすぐ動く

みなさんと力を合わせ
数々の要求実現

これまで

- 震災後直ちに一人暮らしの高齢者や障害者の安否確認に動く
- 水道水の放射能汚染、「安全な水」の供給に協力
- 避難所の炊き出しボランティアや布団と自転車を提供
- 阪神大震災直後から、学校など公共施設の耐震化で市政を動かす
- 子どもの医療費助成の拡大、国保窓口負担の軽減を実現
- ごみ袋有料化にストップをかける



災害時に大きな力を発揮します